

今月のトピック

常に事前の備えを！
-メンテナンスと大雨対策-



今作ももうすぐ終わりです。次作を問題なく始められるよう、片付けの際に機器／資材のメンテナンスも忘れずに行いましょう。また、集中豪雨が発生する時期でもあります。事前に備えておきましょう。

機器、資材のメンテナンス

機器の種類	作業
原水フィルター サンドフィルター	グラベル（内部の砂）を足す／交換する 【作業の目安】 ●目安線まで砂が入っていない⇒砂を足してください ●逆洗浄しても水が汚れている⇒砂を交換しましょう ※経年劣化により砂のろ過機能が落ちている証拠です
給液ユニット内 フィルター ディスク フィルター	メッシュの分解清掃をする 【作業の目安】 ・バルブ操作による洗浄で、 ・汚れが改善されない場合に清掃をします
本圃資材 配管 灌水チューブ 培地 ココバッグ	薬剤を溶かした希釈液を、低圧で流して洗浄します ●アグリクロール（次亜塩素酸ナトリウム） ●チューブクリーン（有機酸） ※詳しい洗浄手順はお問い合わせください ※ドリッパーのニップル内部が詰まっている場合、洗浄による 解消は困難です。ニップル自体を交換して対応します。 必要に応じて交換、培地消毒をします 【交換目安】 ・培地の繊維がつぶれ、袋がたるんでいる場合 ⇒排水不良により根痛みが起こる可能性があります ・洗い流しによる培地内EC／pHの矯正が困難な場合 ・土壌病害が発生した場合 ⇒該当する培地は必ず交換してください 該当しない培地は、『キルパー』や『クロルピクリン錠剤』により消毒処理することも可能です ※処理から定植までは2週間以上必要です

大雨対策

ここ数年、5月下旬～6月上旬に全国的に記録的な大雨が発生しています。ハウス内への浸水は、機器類の故障や作物の生育不良につながりますので、事前に対策をおこなしましょう。

●ハウス内の浸水対策

ハウス周辺の排水溝の汚れがないか、明渠排水が土やゴミで埋まっていないかなど、雨水がしっかり排水されることを確認します。

●機器類の周辺環境確認

万が一ハウス内に雨漏りや浸水などがあった場合に、機器類が濡れる環境ではないことを確認しておきます。浸水しやすい場所に機器が設置されている場合は嵩上げも検討しましょう。

●停電・断水時の対応方法確認

・しおれ対策のための遮光カーテン

大雨後の急な晴天によりしおれが発生する可能性があります。カーテンを使用し、萎れ対策を行いましょ。

・手動での灌水方法の確認

電磁弁を手動で開ける方法や、農業用水を直接本圃へ流す方法を確認しておきましょう。動力噴霧器での栽培ベッドへの直接灌水も準備しておきましょう。

●葉面散布、灌注処理のための機能性肥料

☑曇天続きによる樹勢低下に

- ・蒸散量低下による欠乏症予防に、微量元素、カルシウム等の補給を！
…【鉄力あくあF14】【PSカル】【エバハウス】



▲鉄力あくあF14

- ・光合成不良による樹勢低下予防に！
…【ペンタキープHyper5000】【ホストopp】



▲ペンタキープ
Hyper5000



▲ホストopp

☑病気の発生予防に

- ・適用病害が多い殺菌剤を選定

+α

浸水被害が発生した際には、【フレッシュサンゾ・液剤】がおすすめです。発根促進や、植物表面に付着した汚れの洗い流し等の効果があります。

